

平成30年度
IIST・中央ユーラシア調査会公開シンポジウム
『「一帯一路」構想の現状と中央アジア』

平成12年(2000年)11月にスタートした「IIST・中央ユーラシア調査会」では、世界の動向を大きく左右しつつあるアジアユーラシアの政治・経済・軍事情勢を的確にフォロー・分析すべく、地域研究専門家、国際政治・経済学者、外交官、ジャーナリスト等が定例的に集まり、現在までに170回を超える研究を重ねてきております。研究のエッセンスを年一回の公開シンポジウムで報告し、その問題設定の先見性と中央ユーラシア・アジア諸国サイドから日本を見る姿勢が、参加された方々にも高い評価を得てきています。

さて、今年も中央ユーラシア・アジア情勢を語るときに、中国の「一帯一路」構想の現状分析は避けて通ることはできません。昨年のシンポジウムでは「一帯一路」構想のポジティブな側面が多く報告されましたが、ここにきて情勢は微妙に変化してきているように思われます。そこで、この一年間の変化を踏まえて、本年は『「一帯一路」構想の現状と中央アジア』をメインテーマに据えて、中国、ロシア、中央アジア、南西アジアの専門家により更に議論を深めて参りたいと考えます。皆様のご参加をお待ちしております。

記

1. 日 時：平成31年1月24日(木) 13:30~16:30 (受付開始13:00)
2. 場 所：東海大学校友会館 「阿蘇の間」
千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル35階 TEL:03-3581-0121
(地下鉄銀座線虎ノ門駅5番または11番出口より徒歩3分)
3. 講 師：袴田 茂樹氏 新潟県立大学 教授/青山学院大学 名誉教授
田中 哲二氏 中央アジア・コーカサス研究所 所長/中国研究所 会長
柯 隆 氏 (公財)東京財団政策研究所 主席研究員
清水 学 氏 (有)ユーラシア・コンサルタント 代表取締役
4. 主 催：一般財団法人 貿易研修センター(IIST)
5. 後 援：日本商工会議所
一般社団法人 日本貿易会
独立行政法人 中小企業基盤整備機構
6. 参加費：1,000円(税込)
7. 申 込：1月18日(金) 必着
●参加受付票はお送りしていません。直接会場へお越しください。

※受付にて領収書をご用意します。

※お申込みの際、お手数ながら、領収書に記載する会社・団体名を正式名称でお知らせください。

※ご所属先欄に記載のない場合は、個人名でご用意いたします。

*準備の都合上、キャンセルされる場合は**1月23日(水)正午まで**にご一報願います。

◆問合せ先：貿易研修センター 担当 富所(とみどころ)、脇田(わきた)

平成30年度 IIST・中央ユーラシア調査会公開シンポジウム

『「一帯一路」構想の現状と中央アジア』

主催:一般財団法人 貿易研修センター(IIST)

プログラム

平成31年1月24日(木) 13時30分～16時30分

於:東海大学校友会館「阿蘇の間」

開会 13:30

基調講演 13:35～14:05

袴田 茂樹 氏 新潟県立大学 教授/青山学院大学 名誉教授
IIST・中央ユーラシア調査会 座長
「ロシアから見た中国、中央アジアと一帯一路」

報告 14:05～15:15

モデレーター兼コメンテーター:

田中 哲二 氏 中央アジア・コーカサス研究所 所長/中国研究所 会長
IIST・中央ユーラシア調査会 代表幹事

報告者

柯 隆 (かりゅう) 氏 (公財)東京財団政策研究所 主席研究員
静岡県立大学特任教授/富士通総研 客員研究員
「習近平政権の『一帯一路構想』の真意」

清水 学 氏 (有)ユーラシア・コンサルタント 代表取締役
「中国『海のシルクロード』構想の推進と関連国の反応」

<休憩 10分>

ディスカッション 15:25～16:25

閉会 16:30

※発表者およびテーマは変更の可能性がございますこと、ご了承ください。

主 催: 一般財団法人 貿易研修センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-20虎ノ門実業会館2階

Tel:03-3503-6621 <https://www.iist.or.jp/>